

学校番号	307
------	-----

令和5年度 国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「現代の国語」(大修館書店)						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・「完成日本文学史ノート三訂版」(京都書房) ・「精選速修常用漢字改訂版」(文英堂) ・「三訂版プログレス現代文総演習・基本編」(いっずな書店) 						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野の評論文や実用的な文章を多読し、多角的、客観的な視点を手に入れてください。 ・意味や使い方のわからない言葉は辞書で調べ、語彙力や表現力を磨きましょう。 ・授業では「話す・聞く・書く」というアウトプットの機会を設定します。 ・みなが安心して発表できるよう、他者の意見をきちんと聴く「傾聴」する力を養ってください。 ・漢字の小テスト、速読テストを定期的に行います。
--

2 学習の到達目標

<ol style="list-style-type: none"> ① 実社会で活用できる国語の知識や技術を身につける。 ② 言葉の力、価値を知り、言葉を吟味し、駆使することができるようになる。 ③ 論理的に考える力、想像する力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようになる。 ④ 自分の意見を客観的にとらえ他者に発信することができるようになる。 ⑤ 他者の意見を傾聴し、理解し、共感できるようになる。 ⑥ 読書を習慣化し、生涯にわたって国語を学習する基礎を造る。
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会で活用できる国語の知識や技術を身につける。 ・言葉の力、価値を知り、言葉を吟味し、駆使することができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に考える力、想像する力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようになる。 ・自分の意見を客観的にとらえ他者に伝えることができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を傾聴し、理解し、共感できるようになる。 ・読書を習慣化し、生涯にわたって国語を学習する基礎を造る。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。 [教材] 「白紙」	a: 言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 b「読」: エッセイを読み、内容や構成、論理の展開について叙述をもとに的確にとらえ、要旨を把握している。 c: 問いに向かう姿勢を振り返り、自力で考えることを大切にしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	<ul style="list-style-type: none"> 叙述を的確にとらえる。 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 [教材] 「水の東西」	a: 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b「読」: 文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確にとらえ、要旨を把握している。 c: 学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴を知る。 聞き手が理解しやすい説明を考え、過不足なく伝える。 [教材] 「伝わるように話す」	a: 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 b: 「話/聞」話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいよう工夫して話している。 c: 口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫している。	ワークシート 定期考査	発表資料	ワークシート 振り返りシート
	<ul style="list-style-type: none"> 主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。 [教材] 「動的平衡としての生物多様性」	a: 主張と論拠、それぞれの情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 b: 「読」において、本文における情報の関係に注意しながら、論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 c: 論理的な文章を読み、情報の関係に注意しながら内容を把握することに粘り強く取り組んでいる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	<ul style="list-style-type: none"> 資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 [教材] 「『安くておいしい国』の限界」	a: 文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 b: 「読」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c: 図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を解釈し、自分の意見を深めている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	<ul style="list-style-type: none"> 相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。 [教材] 「わかりやすく書く」	a: 書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。 b: 「書」において、目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んでいる。 c: 説明を書くことを通して、材料同士の関係や全体の構造に注意しながら、目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査	発表資料	ワークシート 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
2 学期	<p>・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。</p> <p>[教材] 『『美しさの発見』について (脳は美をどうとらえるか)』</p>	<p>a: 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</p> <p>b: 「読」において、目的に応じ、情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、論理の展開を評価するとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>c: 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>ワークシート 振り返りシート</p>
	<p>・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。</p> <p>[教材] 『『個人』から『分人』へ』</p>	<p>a: 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</p> <p>b: 「読」において、目的に応じ、情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、論理の展開を評価するとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>c: 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>ワークシート 振り返りシート</p>
	<p>・他者の主張をふまえて、自分の考えを書く。</p> <p>[教材] 「文章を読み取って主張を書く」</p>	<p>a: 読み手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。</p> <p>b: 「書」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特長・課題を把握している。</p> <p>c: 意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握しようとしている。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>発表資料</p>	<p>ワークシート 振り返りシート</p>
	<p>・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。</p> <p>・読み取った情報を活用する。</p> <p>[教材] 「白」</p>	<p>a: 主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。</p> <p>b: 「読」において、目的に応じて文中の情報を関連付け、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。</p> <p>c: 積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成することに活用しようとしている。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>ワークシート 振り返りシート</p>
	<p>・叙述を的確にとらえる。</p> <p>・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。</p> <p>[教材] 『『動』への変化』</p>	<p>a: 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。</p> <p>b: 「読」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。</p> <p>c: 積極的に、学習課題に沿い、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>ワークシート 振り返りシート</p>
	<p>・さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に生かす。</p> <p>・読み手が共感できるように、表現を工夫して書く。</p> <p>[教材] 「魅力的な紹介文を書く」</p>	<p>a: 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p>b: 「書」において読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p> <p>c: 積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い適切な評価を行おうとする。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>	<p>発表資料</p>	<p>ワークシート 振り返りシート</p>

※令和4年度以降入学生用

※年間の各領域時間数

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。 ・読み取った情報を活用する。 	a:主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。 b:「読」において、目的に応じて文中の情報を関連付け、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 c:積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成することに活用しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 「作業ロボットの悲劇」				
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 	a:文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 b:「読」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c:図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を解釈し、自分の意見を深めている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 「インターネット時代の音楽産業」				
	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる意見をもつ人同士が結論を出すための話し合いの工夫について理解を深める。 ・結論の出し方を工夫して話し合う。 	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b:「話/聞」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c:結論を出すための話し合いの工夫について理解し、その後の学習活動や学校生活に生かそうとしている。	ワークシート 定期考査	発表資料	ワークシート 振り返りシート
	[教材] 「結論を出すために話し合う」				

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (12) 時間
- ・書くこと … (20) 時間
- ・読むこと … (38) 時間